

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名	産業経済局
-----------	--------------

基本計画	柱	アジアのなかで成長する	担当局 / 総務担当課名	産業経済局	産業政策課
	大項目	物流基盤を活かした国際ビジネスの振興			
	取組みの方針	成長著しいアジアの企業・人材の集積促進			
	連絡先	582-2299			

21年度計画

-2-(2)-

施策名	アジアから本市への投資の呼び込み
------------	-------------------------

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	本市が培ってきた地域特性を海外にアピールし、本市の産業分野に適した海外の有望企業や研究機関等への投資誘致活動を展開します。これにより、成長著しいアジア諸国を始め、世界各国からの企業、研究機関の本市進出を促進します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	成長著しいアジアの企業・人材の集積促進

	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値		平成21年度	目標値	
	年度	平成20年度	計画	実績		年度	平成21~25年度
施策の成果	本市への外国企業・機関の進出件数		計画	2 件	年度	平成21~25年度	
	アジアから本市への投資の呼び込みを図る指標として、本市への外国企業・機関の進出件数を設定しました。投資誘致の最終目標を平成25年までに累計で10件(2件/年)と設定しました。	現状値	4件	実績	2 件	目標値	累計10件
				達成度	100.0 %		
		年度		計画		年度	
		現状値		実績		目標値	
				達成度	%		
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]		事業費	7,610 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
			うち一般財源	7,610 千円	6,000 千円		

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	A	本市への外国企業・機関の進出件数については、平成21年度の計画を100%達成し、最終年度の目標達成に向け順調な推移だと言えます。 平成21年度は、「外国企業誘致地域支援事業」をはじめとする経済産業省やJETRO事業を活用するなど、目標達成に向け、事業を積極的に推進しました。その結果、カナダ政府事務所が市内に事務所を開設し、また、中国商社が市内に事務所を開設するなど一定の成果を収めることができました。
今後の局施策の方向性		本市への外国企業・機関の進出については、着実に計画を推進しており、今後も引き続き積極的な推進を図って生きます。また、より効率よく施策を推進するため、今後は、海外からの視察受入対応等について、民間への委託を検討するなど、さらに経済性や効率性を高めていきます。

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局	貿易振興課
連絡先	551-3605	

基本計画	柱	アジアのなかで成長する
	大項目	物流基盤を活かした国際ビジネスの振興
	取組みの方針	成長著しいアジアの企業・人材の集積促進
	主要施策	アジアから本市への投資の呼び込み

関連計画	北九州市産業雇用戦略
事業期間	平成20年度～平成32年度
経費区分	裁量的経費

-2-(2)-

事業名	対内投資促進事業			
事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	外国企業・研究機関の本市誘致による経済活性化を目指すためには、海外ミッション派遣及び海外からの視察受入を積極的に進め、本市への投資優位性をPRすることが誘致活動推進の基本となります。このため、海外ミッション派遣・受入体制の強化により、実施回数、内容を強化し、外国企業・研究機関の本市進出に結びつけていきます。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	アジアから本市への投資の呼び込み	成果
				本市への外国企業・機関の進出件数

目的実現の為に実施する内容 【手段】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	海外ミッション派遣回数及び海外からの視察受入回数15回	海外ミッション派遣回数及び海外からの視察受入回数15回	海外ミッション派遣回数及び海外からの視察受入回数15回	海外ミッション派遣回数及び海外からの視察受入回数15回	海外ミッション派遣回数及び海外からの視察受入回数15回		海外ミッション派遣回数及び海外からの視察受入回数15回	
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		海外ミッション派遣回数及び海外からの視察受入回数						計画	15 回	年度
		海外ミッション派遣及び海外からの視察団・ビジネスミッション団受入を積極的に進めるとともに、併せて、本市の投資優位性のPR、地域企業と外国企業とのビジネスマッチングを推進するセミナーや展示会、商談会を開催、もしくはは参画します。						実績	21 回	内容
								達成度	140.0 %	累計75回
	コスト							事業費	7,610 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)
								うち一般財源	7,610 千円	
	単年度計画	A時点 - B時点 - C時点 22.7月(21年度:執行額)								

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	平成21年度は、「外国企業誘致地域支援事業」をはじめとする経済産業省やJETRO事業を活用するとともに、北部九州地域の自治体や国内外の関係団体との連携を強化し、環境や新エネルギー、自動車等の本市の産業分野に適合する有望企業の調査・招聘や国際見本市への出展を通じて、外国企業誘致活動を積極展開しました。その結果、海外ミッション派遣は当初予定を4回上回る14回、海外からの視察受入は当初予定を2回を上回る7回実施し、海外から2件の対内投資を実現させることができました。
------	-------------------------------------	--

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	海外ミッション派遣及び海外からの視察受入を通じ、本市投資環境の魅力PRが本市への外国企業・研究機関の進出を促進するための重要な活動であると認識しています。実際に成果も上がっており、施策の目標である本市への外国企業・研究機関の進出に結びつく有効性が高い事業と考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3	現在、国際ビジネス経験を有する3名の職員で事業を実施するなど、効率的な運営を行っています(一部国際競争力強化事業を兼務)。今後の課題としては、海外からの視察受入対応について民間への委託を検討するなど、さらに経済性や効率性を高めて行く取り組みが必要だと考えています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	新たな雇用創出及び市民所得の向上のため、本市が培ってきた、ものづくりの技術や人材、産業集積、地理的優位性といった、本市ならではの地域特性を海外にアピールし、新しい技術やノウハウを有した国際競争力の高い外国企業の誘致活動を戦略的に進めていく必要があります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	鉄鋼・化学などの従来型の産業に加え、本市が先導し、国内外でも高い注目を集める「環境・新エネルギー、水ビジネス」など今後の成長産業について、市が国や他の自治体との連携のもと積極的に関与することで対内投資の促進を図ることが可能となります。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	引き続き「外国企業誘致地域支援事業」をはじめとする経済産業省やJETROの事業を活用するとともに、今年度の海外見本市出展で発掘した環境・新エネルギー分野の対日投資案件やサービス産業に関する有望案件に対するフォローアップ活動を積極的に推進します。